

安全第一の施工を

多摩南大沢B街区建替 でイチケンの政清社長

イチケンの政清弘晃社長は1日、東京都八王子市で同社が設計施工する「(仮称)MOP多摩南大沢B街区建替え工事」の現場を訪れ、作業所安全大会に参加後に安全パトロールを行った写真。

政清社長は、田島浩二所長らと



ともに現場を巡視し、安全衛生対策や熱中症対策などを確認した。パトロール後、政清社長は「所長を筆頭に現場職員にも安全意識が行き渡っている」と評価し、「社内で行っている案件では最大規模の現場であり、注目度も特に高い。安全を第一に無事故・無災害で進めてほしい」とコメントした。田島所長は「発注者や社内から寄せられる大きな期待に応えていきたい」と語った。

同工事では、「三井アウトレットパーク多摩南大沢」のB街区の建て替えを進めている。施設規模はS造2棟総延べ約1万9800平方呎。商業棟(建替)が2階建て延べ約1万2800平方呎、立体駐車場棟(新築)が3階建て延べ約6170平方呎。4月1日に着工しており、工期は2028年2月28日まで。建築主は三井不動産で、A街区は営業を継続しながら既存施設の大規模リニューアルを実施する。

